

街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

第194号

令和元年(2019)5月発行

発行・事務局

○荏原第一地域センター○

小山3-22-3 (〒142-0062)

TEL 3786-2000

FAX 3786-5385

花めぐり

サンパラソル



サンパラソルは名前の通り、夏の差し日傘の花です。鮮やかな赤やピンク、白の花を初夏から秋遅くまで咲かせます。一旦咲き始めると夜もしばしば一週間は咲き続けるため、道行く人々の目を楽しませてくれます。

小山2丁目のとあるお宅のサンパラソルは10年ほど前から道路沿いのフェンスに絡んで枝を伸ばし、太陽をサンサンと浴びて冬でも艶やかな葉をつけ、初夏には蕾を出し初冬のころまで咲いています。我が家でも3年目のサンパラソルが咲き出しました。

育てるコツは花柄つみ、過湿にしないこと。切り戻し（11月頃）をして挿芽でも増やせますよ。切ったときに白い樹液が出るので皮膚につくとかぶれる事もあります。花言葉は「固い友情」。

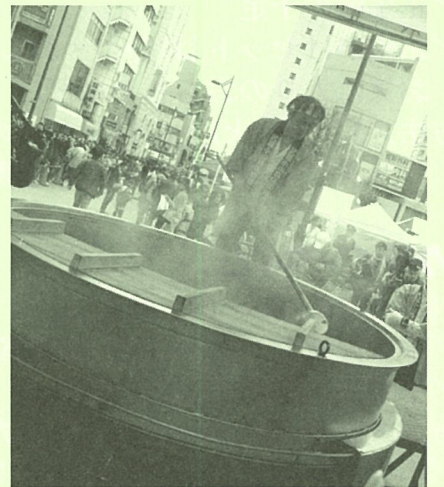
(小山2丁目東部町会・山内静子)

武蔵小山商店街連合会主催の「ムサコたけのこ祭り」が、4月14日（日）に武蔵小山駅前広場ロータリーで開催されました。

このお祭りはその昔、武蔵小山がたけのこの産地として有名だったことになんて開催されており、一番の目玉企画と言えど何と言っても、絶品の「たけのこ汁」。毎年先着3000人に無料で提供されています。

12時頃からスタートした開会式には濱野区長をはじめ、このイベントが縁となり品川区との交流が続いている千葉県大多喜町の飯島勝美町長、たけのこ汁の調理を担当する笠原将弘シェフなどが出席しました。

笠原シェフといえば、生まれも育ち



大鍋で調理する笠原シェフ

名物たけのこ汁に大行列
たけのこ祭り 3000人で賑わう

多くの人で溢れ返る会場内

も武蔵小山で、現在は恵比寿にお店を構える和食料理人です。笠原シェフは「平成最後のたけのこ祭り、最高に派手に頑張りたいと思います。今年も3000人分用意しましたが、タワーマンションが完成する来年には5万人分作れる鍋を濱野区長にお願いして作ってもらおうと思います」とユーモア溢れるスピーチをすると、会場は一気に盛り上がり、笑いとともにも拍手が湧き起こりました。

開会式が終わった頃には「たけのこ汁」を求めて既に長蛇の列が。先頭にいる来場者はなんと10時半頃から並び始めたそうです。待ちに待ったたけのこ汁を手にした方は、満面の笑みを浮かべ「待つて良かった！」と味わいながら食べていました。

そのほかにも、大多喜町のたけのこ販売をはじめ、各団体によって、様々な屋台が出演する「ムサコマルシェ」や、武蔵小山パルム商店街の「パルム」や「パム」などのゆるキャラと触れ合える「ゆるキャラグリーティング」なども開催され、多くの家族連れなどで賑わいました。（事務局）



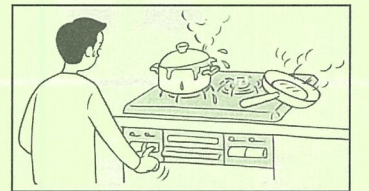
多くの人で溢れ返る会場内

防災☆ワンポイント

(東京都発行「東京防災」より)

！発災直後の行動 揺れが収まってから行動する

あわてて外に出ると、転倒・落下物やガラス破片などによるケガのもと。揺れが収まってから、負傷しないよう、散乱したガラス・陶器の破片などに注意します。

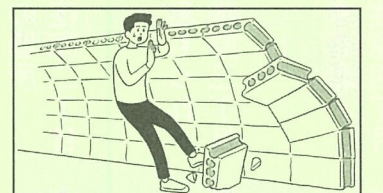


火元を確認する

火を使っているときは、揺れが収まってから、あわてずに火の始末をします。出火したら、落ちついて初期消火に当たります。

出口を確保する

揺れが収まったときにいつでも避難できるように、部屋の窓や戸、玄関のドアを開けて出口を確保します。



ガラスや塀から離れる

屋外にいたら、瓦の落下、ガラス破片の飛散によるケガ、ブロック塀などが崩れて押しつぶされることがあるので近づかないこと。

区民まつり今年も多彩に

今年も荏原第一地区区民まつりを開催いたします。ぜひお越しください！

●日時 7月13日（土）

13時～19時

●会場 スクエア荏原

(荏原4丁目5番28号)

●内容

- ① 模擬店
- ② 子どもまつり
- ③ 盆踊り
- ④ 各種展示

当番町会（小山3丁目町会・小山4丁目町会・小山5丁目町会）や各団体による、おいしい食べ物や飲み物などの出店、子どもまつりでは、お子様が楽しめる企画を準備しています！

※入場無料です（模擬店の飲食は有料）。

※雨天時は中止となります。

※駐輪スペースに限りがありますので、徒歩での来場にご協力ください。

事務局 荏原第一地域センター

☎ 3786-2000

高齢者の相談窓口

支え愛ほっとステーション
お気軽にご利用ください

支え愛・ほっとステーションは、品川区社会福祉協議会が運営する福祉の相談窓口です。品川区内にある全13地域センター内に窓口を設け、高齢者からの相談などを無料で受け付けています。

「腰が痛いから代わりに買い物をしてほしい」「もしもの時が心配で、機械・警備会社の見守り（品川区緊急通報システム）を設置したい」「近所に気になる高齢者がいる」など、どんな内容のご相談もお待ちしています。

また、ほっとステーションの職員による定期的な電話（月1～2回程度）や、ボランティアによる訪問（月1回程度）も行っております。ぜひご利用ください。

●問い合わせ

荏原第一支え愛・ほっとステーション
☎ 6421-5557

ボランティア大募集！

空いている時間を使って社会貢献してみませんか？詳細は支え愛・ほっとステーションまでお問い合わせください。